

民間活力の導入による燕・弥彦総合事務組合斎場整備事業等の可能性調査業務委託に係る公募型プロポーザルを実施し、審査委員会において厳正な審査の結果、優先交渉先を選定したので、その結果を次のとおり公表する。

平成22年9月29日

燕・弥彦総合事務組合
管理者 燕市長 鈴木 力

1 プロポーザルの名称

民間活力の導入による燕・弥彦総合事務組合斎場整備事業等の可能性調査業務委託に係る公募型プロポーザル

2 業務の名称

民間活力の導入による燕・弥彦総合事務組合斎場整備事業等の可能性調査業務委託

3 業務の目的

民間活力の導入による燕・弥彦総合事務組合斎場整備事業等(建設、改修、維持管理若しくは運営又はこれらに関する企画をいい、管内住民に対するサービスの提供を含む。以下同じ。)の可能性を検証するとともに、適切な事業手法を見出すこと

4 選定方法

公募型プロポーザル方式による選定

5 プロポーザル応募者

応募申込書の提出があった次の5社について、応募資格の確認を行った上で5社すべてから企画提案書の提出を受けた。

- (1) ㈱建設技術研究所北陸支社
- (2) 国際航業㈱新潟支店
- (3) ㈱日本総合研究所
- (4) パシフィックコンサルタンツ㈱北陸支社
- (5) みずほ総合研究所㈱

(五十音順)

6 審査方法

燕・弥彦総合事務組合建設工事入札等審査委員会委員(6人)を審査委員会に充て、各委員が次に掲げる審査項目及び配点に基づき、提案内容について採点を行い、各委員の合計点の平均点に見積金額の得点を加算する評価方式により審査を実施した。(200点満点)

- (1) 応募者の実績 30点
- (2) 業務の執行体制、担当予定者の能力等 20点
- (3) 業務実施方針 40点
- (4) 業務スケジュール 20点
- (5) 課題についての提案 40点

(6) ヒアリング等 30点

(7) 見積額 20点

7 審査結果

審査結果は、次のとおり。

審査結果に基づき、最も得点の高かった㈱日本総合研究所を優先交渉先として選定した。

A社(優先交渉先) 190.87点

B社 181.56点

C社 163.75点

D社 162.51点

E社 143.40点

8 審査講評

各社とも、これまでの受注実績で蓄積したノウハウ等を基に、業務実施方針、業務スケジュール及び課題についての企画提案がなされた。

そんな中で、優先交渉先として選定された㈱日本総合研究所は、本業務で求めている成果の達成に向けて、実施方針、業務スケジュール及び課題において的確なる提案をするとともに、各審査項目においても高得点を獲得し、業務実施の信頼性が高いと評価された。